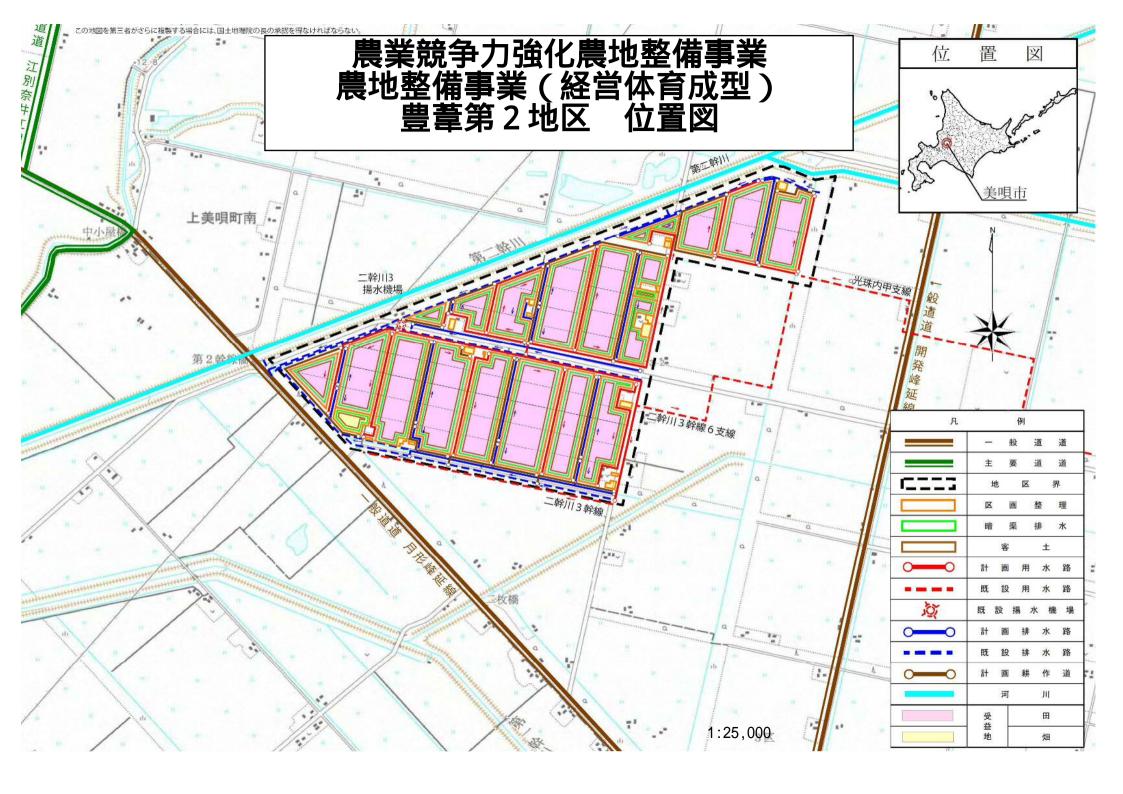
【大	規模増額	等均	也区】										準年月			7年8	
調	書番号		06-	15		所 管	部	農政	的部			艾 <u>責任者</u> 旦当係			農地整例 備係 (	i課長 清 内) 27	#田 隆志 -568
Ι	基本事項	(基	準日曜	寺点)	)						,_		,5 .	9 <u>IE</u>	אונוויי	13/ 21	000
	事業種別		道営			事業費(	農地整備	事業	(経	営体	育成	型))					
ありがな 地区名			豊葦第2			市町村名美剛						·			35 百万円		
負担割合			国 55.0% 2,494 百万円			道 32.5% 1,474 <sub>百万円</sub>			市田	市町村 —			その他 12.5% F 567 百万月				
	業目的 · 目標	●農作 ●換地 ●担い ●事業	選覧米安定生産および転作作物の生産性向上を図る。 操作業効率の向上および水管理の合理化により労働力の省力化を図る。 建地により農地や農業施設の再編整備を図る。 選業実施により安全・安心な食の生産をささえる。 アウトカム】 等  ②い手農地利用集積率(受益面積のうち担い手が耕作する面積の割合)(H31)99.8%→(R12)100.0%														
事業概要		る地産供等業う現1化め生平区す給の用。況86しに産坦にるや水用ま50点、暗性	順市の北西部に位置す はな水田地南部で第米古水 において、東定した市が、大大 を連りたれがい。 水管理に対応を合う。 はため、安定したがい。 水管理に対応整を連合を はた、経験のできる行 また、経験の経動を大り ちの程度の規模へ大良のた を関すが、転作で密土な に発揮する。 に発生なる。 ・ に発生なる。 ・ に発生なる。 ・ に発生なる。 ・ に発生なる。 ・ に発生なる。 ・ に発生なる。 ・ に発生なる。 ・ に発生なる。 ・ に発生なる。 ・ ・ に発生なる。 ・ に発生なる。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		5米ミルきをことで見ずるを用がる行よ 区の物本生水い農 り 画たの	工事費内訳	受益面積 109ha→108ha 受益戸数 12戸→11戸 ○区画整理 109ha→108ha (用水路、排水路、農道、整地 ○測量設計費 ○用地補償費 ○換地費								回評価 今回評価 増 2,562 4,182 264 268 12 15 62 70		增減額 1,620 4 3 8
総合計画 での 位置付け			基本方向 総合計画 の体系 潜在力発揮に よる成長		力発揮に	政策の柱 (1)食 【目標】国内外から求め			政策の方向性力強い農業・農村の確立				施策名農業農村整備の推進				
特定分野別 計画等での 位置づけ			施策目標 (生・方針 ス		(生たス	画名:第6期北海道農業・農村振興推進計画 P23】 産基盤の強化) マート農業技術や高収益作物の導入を容易とするほ場の大区 生産力と競争力の強化に向けた整備を推進する。											
			重する指標 食料自給率(カロリーベース) 令和12年度(2030年度) 目標値:268%														
I	公共事業			<del>*</del>	<b>T</b>	李佐左帝	ウフマウ			総事	業費	**	当該年	E度	累計事:	業   <sub>*# +1</sub> -	<del>***</del>
事	事前評価		採択   着手     R3   R3			評価年度 R1	完了予定 R11	経	事	(8	a)	道負担額	事業	#	費(b)	進捗	率(b)/(a)
業	又は当初	(20	21)	(20	21)	(2019)	(2029)	過年数	業	2	,900	943	3	$\downarrow$			
経	前回再評価							致									
過 今回評価						R7 (2025)	R11 (2029)	5	費	4	,535	1,474		916	3,17	72	70%
	更理由・内(概要)		(1) 測量精査及び施設配置の変更 (2) 軟弱地域における仮設工法の変更 (3) 軟弱地域における管種の変更 (4) 土質条件変更に伴う工法の変更 (5) 整地工施工方法の変更 (6) 家屋調査の取りやめ (7) 自然増による増額														
1.事	III 事業採択前の状況  本地区は平成10年~14年に道営土地総事業が行われているが、泥炭地特有の地盤沈下による用水路の不陸の発生に加え、老朽化が進行し目地破損等が生じており、漏水の影響により用水の安定供給が行えないことや維持管理費の増加など水管理に苦慮している。加えて、小区画な農地が多く、作業効率が悪く担い手への農地集積の支障となっていることから、基盤整備の実施によって農業生産の体質強化を図るため、北海土地改良区から事業採択に向けた要望が出された。																
続	業検討の (住民ニース) 屋等)		●H29年(2017年)5月 北海土地改良区から総合振興局へ整備要望 ●H31年(2019年)4月 総合振興局で地域の整備要望を踏まえ調査を開始 ●R2年(2020年)10月 土地改良法に基づき事業申請 ●R3年(2021年)3月 事業採択														
及	業効果を ぎす 或・対象			益面和	責109	ha→108ha		12戸-									
4 . 関	]連する事	業	1	<b>*</b>	業	名	事業主体	事	業_	期	間	事業費(百万円)	=	<b>F</b>	業	内	容

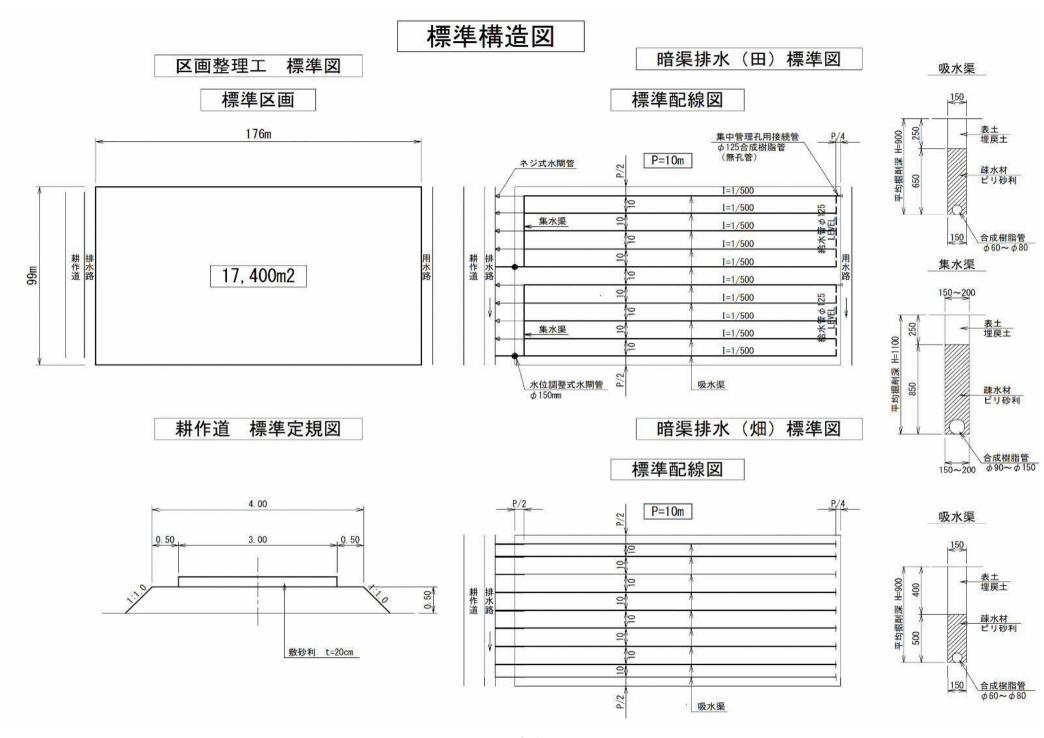
IV 事業の実	(1)事業実績	夏及ひラ俊の計I	曲													
	施工(工種)区分	工事内容	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11			進捗状況	事業費(百万F	
	区画整理	A=108ha		<b>-</b>	A=8	2ha	>	A=	2 <u>6ha</u> >					70%	418	
	測量設計費	調査・設計	<b>—</b>	実	施設計等		<b>→</b>	< 工事	量算定					81%	26	
	用地費及補償費	用地買収・物件補償	en en	$\leftarrow$		·電柱移	<del>览</del>	<電 <sup>t</sup>	移設>					31%	1	
	換地費	換地処理		<	換地原	東案作成	$\rightarrow$	< <del>-</del>	時利用地	指定·換	地処分			20%	70	
1.進捗状況															(	
															(	
	(2)進捗状況															
	●事業計画の変更	はあるものの概ね?	7定ど	おり進	捗して	おり、	今後0	の実施	に当た	っても	5特に	大きな	支障と	:なるものはな	いな	
		概ね予定どおり実				・事業	ette ette	• 期間	等を変	更し	尾施す.	<b>క</b> .				
		問題が生じ、実施											/++ <del></del>			
	経済効果の内部					. (2						備考		フル		
	項目	R7現在		項目			7現7		の増減、	作物品	質の向」	、営農総	経費及び	維持管理費の節源	或、災害防止/	
	作物生産効果	1,875		区画整	_	5	5,065					ことは軽減		、国産農産物の多	定に供給に対す	
	品質向上効果	924	艮	引連施	設		795		<ul><li>「土!</li><li>に基づ!</li></ul>		業の費用	対効果分	分析マニ	ュアル」(農林』	k産省R7改正	
	営農経費節減効果	3,933							• 効果			2025)	に現在値	価値化し、「整備	期間+完了後	
	維持管理費節減効果	△ 140							・農業	用用排水	施設(図			含む) と接続する	る上位用排水が	
	災害防止効果	9							<ul> <li>維持</li> </ul>	管理費節	減効果は	は、現施語	設の維持	計上している。 管理費に対して、		
2.事業効果	国産農産物安定供給効果	193							合の維持	寺管理費	の増減及		を実施せ	ず現施設がなくな		
	合計 (B)	6,794	合	<del> </del>	2)	F	5.860	)	1					•		
		B-C			度 :	,	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		9年度	【車市	有評価 7					
	B/C				-			1	<i>→</i> ⊤/ <i>×</i> /	r → II	201 IUU A					
	(R7現在)	你这个的中中	- 前回算定時B/C: 的内部収 変更理由				_									
	(117 % 127	経済的内部収益 益率				伴ろ妻	# A tè	ĎħΠ								
		<del>二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二</del>			物安定				定方法	の変更	による	5効果額	額の増	סל		
	1.15	-	•諸(	系数•.	単価等	の時点	修正に	こよる	効果額	の変更	Ē.					
	To /II or To II					П	<b>/</b> □ <del>-</del>	rain .						縮減額(百万円)		
3.コスト	取組の項目						組内	_			_ /> "			稲減領(		
縮減など	施工の最適化	用水路の基準	に現地発生土を利用すること			حاره	による施工費用の縮減					10				
MIH WHI. / ch. (													l			
の取組																
	●本地区は水稲を 区では高収益作物 ●現在は狭小なほ	であるかぼちゃの作 場が大半であるが、	F付が 大区	検討さ	れてい 行うこ	るが、	作土原	享不足 の直播	等の基 を積極	盤の性的に行	主質か	う導入	が進ん	でいない現場	犬である。	
の取組	●本地区では水塔をではは水塔をではではではではできます。 「ハーコ では では できます できます できます できます できます できます できます できます	である大きなのが、言が、大きなのが、言が、大きない。 かいまであいまであります。 かいまであります。 かいまであります。 かいまであります。 かいまであります。 かいまでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	下して多品 います まってり である います である である である 深端安 でいる こく 水用定	検画」い。ロ低 用落と管 か水供討化のる現ス下 用ロも内 ん路給、さを生が況が、 排を必清 がは、	れ行産、の生作、水確要掃、い機維にいこ大家区で性、説しあの、水低管	いるがになるない。 ないではない ままれる とうない ままれる ままれる では ままれる では ない はい	「作り、に、業をすると、では、これのは、業をすると、では、なって軽いない。」 では、これのは、これのは、これのは、これのは、これのは、これのは、これのは、これの	厚かもい里率い 二黄 容 を安域不直圏経すがて とを 易 目定を足権へ差る悪い て行 に 的し図	等を搬規ほくる 、い 行 とたりを付ける がい で しんりょう にんりょう にんしん かい いっかん しんしん かい いっかん しんしん かい	盤的る拡多いら、理水、と、国供的のに、大く手に、の性、で、営給の	重要の が できます から できます から できます から できます から いっぱ から	る本で、水地不で、水地不で、水地不で、水地不で、水地不で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地	がで な管のほ 管こ る 事て進プ か理支場 理と 。 業い	でいない現れていないでは、 営農の更ないというでは、 営農の要しているである。 でいる	だいる。 ない。 ない。 ない。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さ	
の取組	●本ではないでは、 ●本ではでは、 ●ないではでは、 ●ないではではできます。 一ではではできます。 一ではできます。 一ではできます。 一ではできます。 一ではできます。 一ではできます。 一ではできます。 一ではできます。 一ではできます。 一ではできます。 一のはできまする。 一のはできまする。 ・のはできまする。 ・のはできまなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	である大きなのが、言が、大きなのが、言が、大きない。 かいまであいまであります。 かいまであります。 かいまであります。 かいまであります。 かいまであります。 かいまでは、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切	下付大いれい動質 農水るし 深端安事が区)てるにの 業のこ、 水用定業	検画」い。ロ低 用落と管 か水供の 討化のる現ス下 用ロも内 ん路給推 さを生が況が、 排を必清 がは、進	れ行産、の生作 水確要掃 い機維をてう拡農小じ業 施保で等 用能持図いこ大家区る性 設しあの 水低管る	いるとでのである。 というのでは、 よいりに行うでのでは、 集排、 持 確に負要を たる維 ので理めている。	「作り、に、業をすると、では、これでは、一体の、に、業をは、ないのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	事のおい里率い こ前 容 を安域不直圏経すがて とを 易 目定を に指へ営る悪い て行 に 的し図	等を搬規ぼくる 、い 行 とたるを付すのが担合 で が、 う し用た	盤的る拡多いら、理水、と、国供的のに、大く手に、の性、で、営給の	重要の が できます から できます から できます から できます から いっぱ から	る本で、水地不で、水地不で、水地不で、水地不で、水地不で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地	がで な管のほ 管こ る 事て進プ か理支場 理と 。 業い	でいない現れていないでは、 営農の更ないというでは、 営農の要しているである。 でいる	だいある。 ないる ない。 ない。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さ	
の取組 一個	●本ではないでは、 ・本では、 ・ないでは、 ・ないでは、 ・ないでは、 ・ないでは、 ・ないでは、 ・ないでは、 ・ないでいる。 ・ないでいる。 ・ないでいる。 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・なとは、 ・ないがいがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいが、 ・ないがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいがいが	である大きな である かいく であるか半で がいます であるか半くであいます であいます であいます であいます であい かい であいます でかけ にいな を でんしょ な がん の の 用 著 に 変化 でんしょ で でんしょ でんしょ	下付大いれている。 では、	検画」い。ロ低 用落と管 か水供の より討化のる現ス下 用口も内 ん路給推 く事でを生が況が、 排を必清 がは、進 予業	れ行産、の生作 水確要掃 い機維を 定計でう拡農小じ業 施保で等 用能持図 ど画いこ大家区る性 設しあの 水低管る おの	るとなるのでは、よりとはであるとのでは、ます。 かに行滅でど低 集排。持 確に負要 事 更 では、まず、 質な、 質な、 質な、 質な、 質な、 質な、 質な、 質な、 質な、 質な	「作り、に、業をする、理なっのあるという」とは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで	事のおい里率い 二苗 容 を安域 している 一下は一下は一下は一下は一下である 見 目にを するる でん に 的しと 一るる	等を搬規ほくる 、い 行 とたる 原植すのか担さ 管排 こ た水め	盤的の拡多いら、理水、と、国供、の性で、営給早にの性で、営給早にの性で、営給の制	重要の が はの できます から できます かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう	る本で、水地不で、水地不で、水地不で、水地不で、水地不で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地	がで な管のほ 管こ る 事て進プ か理支場 理と 。 業い	でいない現れていないでは、 営農の更ないというでは、 営農の要しているである。 でいる	だいある。 ないる ない。 ない。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さ	
の取組 一個	●本ではないでは、 ・本では、 ・なはでは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのが、 ・でのが、 ・でのが、 ・でのが、 ・でのが、 ・でのできる。 ・でのできる。 ・ででのは、 ・ででのできる。 ・ででのは、 ・ででのできる。 ・ででは、 ・ででのできる。 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・でできる。 ・ででできる。 ・でできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	である大きな であるかい であるが という であるが という であるが でいか	下付大いれている。 では、	検画」い。ロ低 用落と管 か水供の より討化のる現ス下 用口も内 ん路給推 く事でを生が況が、 排を必清 がは、進 予業	れ行産、の生作 水確要掃 い機維を 定計でう拡農小じ業 施保で等 用能持図 ど画いこ大家区る性 設しあの 水低管る おの	るとなるのでは、よりとは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 ないでは、	「作り、に、業をする、建てのある。というに、業をする。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	事のおい里率い 二苗 容 を安域 している 一下は一下は一下は一下は一下である 見 目にを するる でん に 的しと 一るる	等を搬規ほくる 、い 行 とたる 原植すのか担さ 管排 こ た水め	盤的の拡多いら、理水、と、国供、の性で、営給早にの性で、営給早にの性で、営給の制	重要の が はの できます から できます かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう	る本で、水地不で、水地不で、水地不で、水地不で、水地不で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地	がで な管のほ 管こ る 事て進プ か理支場 理と 。 業い	でいない現れていないでは、 営農の更ないというでは、 営農の要しているである。 でいる	だいある。 ないる ない。 ない。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さ	
の取組 一個	●本ではないでは、 ・本では、 ・なはでは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・ででは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのは、 ・でのが、 ・でのが、 ・でのが、 ・でのが、 ・でのが、 ・でのできる。 ・でのできる。 ・ででのは、 ・ででのできる。 ・ででのは、 ・ででのできる。 ・ででは、 ・ででのできる。 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・ででが、 ・でできる。 ・ででできる。 ・でできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・ででできる。 ・でででででででででででででででででででででででででででででででででででで	である大きな である かいく であるか半で がいます であるか半くであいます であいます であいます であいます であい かい であいます でかけ にいな を でんしょ な がん の の 用 著 に 変化 でんしょ で でんしょ でんしょ	下付大いれている。 では、	検画」い。ロ低 用落と管 か水供の より討化のる現ス下 用口も内 ん路給推 く事でを生が況が、 排を必清 がは、進 予業	れ行産、の生作 水確要掃 い機維を 定計でう拡農小じ業 施保で等 用能持図 ど画いこ大家区る性 設しあの 水低管る おの	るとなるのでは、よりとは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 などのでは、 ないでは、	「作り、に、業をする、建てのある。というに、業をする。というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	事のおい里率い 二苗 容 を安域 している 一下は一下は一下は一下は一下である 見 目にを するる でん に 的しと 一るる	等を搬規ほくる 、い 行 とたる 原植すのか担さ 管排 こ た水め	盤的の拡多いら、理水、と、国供、の性で、営給早にの性で、営給早にの性で、営給の制	重要の が はの できます から できます かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう かっこう	る本で、水地不で、水地不で、水地不で、水地不で、水地不で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地で、水地	がで な管のほ 管こ る 事て進プ か理支場 理と 。 業い	でいない現れていないでは、 営農の更ないというでは、 営農の要しているである。 でいる	だいある。 ないる ない。 ない。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さい。 さ	
の取組	●本は保証のでは、本のでは、本のでは、本のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	である大きない。 である大きない である大き事画へいた である大きのであいます であいました であいました であいま できない であいま できない であいま できない できない できない できない できない できない できない できない	下付大いての登留 農水する 下の ではにに 第2川 のが区)てる自己の 業のこ、 水用定業 はよよ 備へ 動「	検画」い。口低 用落と管 か水供の ようう マの ういてのる現え下 用口も内 ん路給推 (と)事事 ス生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れ行産、の生作、水確要掃、い機維を「定計推」(一系でした機)・心学 施保で等 用能特図 と間連 プに 向いた大家区名性 設しまの 水低管名 おのの ラ南	るとを「瀬では、日本の	作り、いた、業をす路、理、なっのあるを必判 いめ 生飛んが は、業をす路、理、なっのあるを必判 いめ 上米 都伴管理的 る整 を とて軽える。 推進です でほう でいき はまして はまして はまして はまして はまして はまして はまして はまして	厚の声が里率が こ帯 容 を安或 terzer 環南 不直圏経すがて とを 易 目定を すある 境時 正権へ営る悪い て行 に 的し図 (るる必) 酢の	.等を搬規ぼくる 、い 行 とたる 。。要 慮施 の積14単場、。 水、 う し用た が 区 I 取 で	盤的る拡多いら 理水 と 国供、    る    に止のに。大くてイヤ 省で 「	注質い がよりの手 かりまかい かい 人用農厚 化善命 が降整 づけ	ら本 でいの集足 やいとない いっぱい はいの 集足 といいとない いっぱい はいの また いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	がで な管のほ 管こ る 事て要 いたう でに障で 費が ま 空るを いっこん	でいない現れていた。 でいない現れていた。 に、営農の更なでは、 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	だい	
の取組 ・	●本地のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、本のでは、またの	である大きない。 である大きない である大き事画へいた である大きのであいます であいました であいました であいま できない であいま できない であいま できない できない できない できない できない できない できない できない	下付大いての登留 農水する 下の ではにに 第2川 のが区)てる自己の 業のこ、 水用定業 はよよ 備へ 動「	検画」い。口低 用落と管 か水供の ようう マの ういてのる現え下 用口も内 ん路給推 (と)事事 ス生 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	れ行産、の生作、水確要掃、い機維を「定計推」(一系でした機)・心臓・心臓・心臓・心臓・心臓・心臓・心臓・心臓・心臓・心臓・心臓・心臓・心臓・	るとを「瀬では、日本の	作り、いた、業をす路、理、なっのあるを必判 いめ 生飛んが は、業をす路、理、なっのあるを必判 いめ 上米 都伴管理的 る整 を とて軽える。 推進です でほう でいき はまして はまして はまして はまして はまして はまして はまして はまして	厚の声が里率が こ帯 容 を安或 terzer 環南 不直圏経すがて とを 易 目定を すある 境時 正権へ営る悪い て行 に 的し図 (るる必) 酢の	.等を搬規ぼくる 、い 行 とたる 。。要 慮施 の積14単場、。 水、 う し用た が 区 I 取 で	盤的る拡多いら 理水 と 国供、    る    に止のに。大くてイヤ 省で 「	注質い がよりの手 かりまかい かい 人用農厚 化善命 が降整 づけ	ら本 でいの集足 の はと と いとば いの集足 は 経区 と いとば いの集足 は 経区 と いとば れっぱ れっぱ いっぱ しょく はんしょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく	がで な管のほ 管こ る 事て要 いたう でに障で 費が ま 空るを いっこん	でいない現れていた。 でいない現れていた。 に、営農の更なでは、 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	だい	
の取組 ・ 取組 ・ 取組 ・ 主進での ・ 主進での ・ 業ます課 ・ 主進での ・ 実達 ・ 成 ・ 成	●本では在一大のでは、本本のでは、本本には、本本には、本本には、本本には、本本には、本本には、本本には、本本	であたまで、	下付大いれい動質、農水るし、深端安事・化にに 整川 の まなが区)てるにの 業のこ、 水用定業 はよよ 備へ 動 通 支	検画」い。口低 用落と管 か水供の ようう マの 句 じ 障対化のる現ス下、用口も内 ん路給推 (ショ)事 ス生 ・ て やまごを生が況が、 排を必清 がは、進 予業業 夕態 『『早』 課	れ行産、の生作、水確要掃、い機維を一定計准・一系・「氦、期・「顕してう 立腹・小じ業 施保で等 用能持図 と画進・「ブロ・「向・完」していて大家区名性・説しあの、水低管で、おのの」「5配」の「の「ない	るとを次画なのをたる維めで理必り変是 シ慮 にくがに行演でと低集排が管 領は担対 事更非 この 向 くく	作り、いに、業をす路理、なっのあを必判 いめ たた 定用の行いのは、業をす路理、なっのあを必判 いめ たた 実の は、実には、対して、実には、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	プログライ では できない こう ない こう ない こう ない こう ない こう	等を搬規はくる 、い 行 とたる 。。要 慮施 わ 事の積到模場、。 水、 う し用た が 区工 れ 業	盤的る拡多いら 理水 と 国供、 る に止 い 成のに、大なイヤ 省々 豊 盆紅草 の 位なと る がり	挂写い ぎゅの 手 から 表 からな	SA で いの集足 と 排と前	がで な管のほ 管こ る 事て要 い生 い生 かて はず すい まいさ しょう でに障で 費か ま 空るま しょう こうしょう	でいない現れていない。 に時間では、 に時間では、 に時間でなった。 でいるで、 でいる	だい ない	
の取組 2.推上での 2.推上での 2.推上での 3. 必要性 2. 推上での 3. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2. 2.	●本で現代を図で現代を図で現代では、本では在によるでは、本ではでは、では、などのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	であた大きでは、大きないので、まず、大きないので、まず、大きないので、まず、大きないので、まず、大きないので、まず、大きないので、まず、大きないので、まず、大きないので、まず、大きないので、まず、大きないので、まず、大きないので、まず、大きないので、まないので、大きないので、大きないので、まないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、大きないので、まないので、大きないので、まないのではないので、まないのでは、まないのでは、まないのではないではないではないのではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	F付大いれい動質 農水るし 深端安事 化にに 艶川 の を な 勝いが区)てるにの 業のこ、 水用定業 はよよ 備へ 動 通 支 景 景 景 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東	検画」い。口低 用落と管 か水供の ふうり マの 一句 じ 障  響すべた生が況が、 排を必清 がは、進 予業業 タ態 『、早 課  で	れ行産、の生作、水確要掃、い機維を一定計准・一系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ACLEROMBUSION をたる維 の下理必 り変是 シ慮 に く ながに行演でと低 集排。持 確に負要す 東東非 にの 向 ラーく、	作り、心は、葉をす路理、なっのあるを必判 いめ た 定達 土米都は野郊沼 る館 を とて軽る。 推要です て降雨 要 年 成 大田 の では 一様 では こく はままれる はまれる は	厚の声が里率が、こ前、容・を全域、一直である。 環雨 では、 で、見、正権へ登る悪い、て行、に、的に区を、るる必 「 酢の ) で、見、 で、 見、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	等を搬規はくる 、い 行 とたる 。。要 慮施 わ 事の積到模場、。 水、 う し用た が 区工 れ 業	盤的る拡多いら 理水 と 国供、 る に止 い 成のに、大なイヤ 省々 豊 盆紅草 の 位なと る がり	挂写い ぎゅの 手 から 表 からな	SA で いの集足 と 排と前	がで な管のほ 管こ る 事て要 い生 い生 かて はず すい まいさ しょう でに障で 費か ま 空るま しょう こうしょう	でいない現れていた。 でいない現れていた。 に、営農の更なでは、 では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	だい ない	
の取組 ・ 取組 ・ 取組 ・ 必要 ・ 主進での ・ 業ます課 ・ 選達 ・ 成 ・ 成	●本で現代を図で現代を図で現代では、本では在によるでは、本ではでは、では、などのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	であたかでは、	下付大いれい動質 農水るは、深端安事(化にに 義別)の さいますは、大いれい動質、農水るは、深端安事(化にに 整別)の さいました ほにが区)てるにの 業のこ、 水用定業(はよよ) 備へ 動り 通 支 気は	検画」い。口低 用落と管 か水供の まりり マの 句 じ 障 響相討化のる現ス下、用口も内 ん路給推 く 事事 マエ ・ て や すらがする サインを生が沢が、 排を必清 がは、進 予・業業 夕態 『 早 課 その	れ行産、の生作、水確要掃、い機維を一定計准 一系 意 期 題 雰囲でうな農小じ業 施保で等 用能持図 と画進 プに 向 完善は 題嫌がいこ人家区る性 設しあの 水低管る おのの ラ酢 成 は 題嫌が	るとをの画なのをたる維めで理解の変更がに行っています。 ないでは、よいりに作り、 解が 管 には要す 東東非 にの はい ないではない ないがにがいる はいかい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	作り、小は、筆をす路、理、なっのあを必判 いめ た 定 達れ 生状 都伴管理的 る を とうできる 推要 下 で で で 達れ まん で で で で で で で で で で で で で で で で で で	厚の下の里が、 こ前 容 を安成 「重さっ」 環府 望 「 度 が。不直圏経すがて こ前 容 を安成 「重さっ」 環府 で 記し 「 で 見 こ	等を搬規ぼくる 、い 行 とたる 。。要	盤的る拡多いら 理水 と 国供、 る に止 い 成 る。 かり 「 成 る。 かり 「 で	生写い がよりの 手 かり 表 かりない こう かい こう かい こう かい こう かい こう かい こう かい こう	ら本 で N の 集足 と が 上	がで な管のほ 管こ る 事て要 い生 い生 る から でに障で 費か ま 空るを るこ	でいない現れていたされていた。 に時間なって作りでは、 に時間をなって作りです。 に時間でなってかりです。 にの低級でいた。 にの低級でいた。 にのに、	だい。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 な	
の取組 ・ 取組 ・ 取組 ・ 主進での ・ 主進での ・ 業ます課 ・ 主進での ・ 実達 ・ 成 ・ 成	●本は在一次では、本本にはは、本本には在一次で、現から、本で、というで、現から、本で、というで、現か、ので、現か、ので、現か、ので、ので、現が、で、本で、ので、ので、というで、で、ので、ないで、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、で、	であたまで、	下付大いれい動質、農水るし、深端安事・化にに 整川 の 会 きな 勝成 いが区)てるにの 業のこ、 水用定業 はよよ 備へ 動 通 支 戻ば の	検画」い。口低 用落と管 か水供の よりり マの 句 じ 障 響相 早 で討化のる現ス下、用口も内 ん路給推 (ショ) タ で や で 物 ずる 男 大生 ・ て や で は ずる 男 ・ 「 早 一 課 する 男 ( ・ ) 「 「 」 「 ・ ) 「 ・  」 「 ・   」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・   」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・   」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・   」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・   」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・   」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・   」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・   」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・   」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・   」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  」 「 ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  」 「 ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  ・  ・  ・  」 「 ・  ・  ・  ・  ・	れ行産、の生作、水確要掃、い機維を一定計准・一系・「急・期・一題、課団、成てう拡農・小じ業、施保で等・用能持図、と画進・「ブレーローウ」は、題類、要・「バン大家区る性・説しあり、水低管さればのの」、三配・「ローウ」が、「なり、海域が、望い、	るとをの画なのをたる維めで理必り変是 ン慮 に くながせる はんしん かに行演でと低集計が 管 領は担か 事更非 この 向 くながせる 受 付 はいりに かいり しょくない せんしん しょくない せんしん しょくない しょく はいしょく はいしょく はいしょく はいしょく しょく はいしょく しょく はいしょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく しょく	作り、いに、業をす路、理、なっのあを必判 いめか た 定 達れ て 中土米都伴等項招 る解 を どて軽る。 推要 断 て降雨 要 年 成る い 止 原の下の は かん	厚の下が里ない こ精 容 を受或 きごよう 環雨 望 度 が。 る不直圏経すが こ精 容 を受或 きごよう 境雨 が で 見 たに揺へ登る悪い て行 に 的し図 るる必 酢の 行 の しない	等を搬規ぼくる 、い 行 とたる 。。要	盤的る拡多いら 理水 と 国供、 る に止 い 成 る。 かり 「 成 る。 かり 「 で	挂守い ぎゅの下 自力改 表 んさな	ら本 で N の 集足 と が 上	がで な管のほ 管こ る 事で要 い生 る 指進プ か理支場 理と 。 業いで るし も 指で でに障で 費か ま 空るあ 。 な の し	でいたされていた。 に時間では、 に時間であった。 に時間であった。 に時間であった。 に時間であった。 にの他要で、下の地で、 にの他で、からいで、 にのは、	だい。ない。 ない。ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。	

VI 備 考	
	【評価結果】
1.評価履歴	事前評価: 令和元年(2019)年度評価 評価結果: 要望を行うことは妥当 B/C=1.12 再評価 : 該当なし
1.时间极症	【特記事項】
2. その他の 取組事項	

#### 法口次约

補足資												
VII 事業 事業経済	計画変更							車	業費			
争未胜人	再評価	事業採択	着手	評価年度	変更年度	完了予定		<del>-</del>	総事業費	当該年度 事業費	累計事業 費(b)	進捗率 (b)/(a)
事前評価 又は当初		R3 (2021)	R3 (2021)	R1 (2019)		R11 (2029)	経		2,900			
変更①		R3 (2021)	R3 (2021)		R2 (2020)	R11 (2029)			3,100			
変更②	1回目			R7 (2025)		R11 (2029)	過		4,535	916	3,172	70%
変更③							Æ					
変更④												
変更⑤							年					
変更⑥												
変更⑦							数					
変更⑧												
変更⑨												
変更⑩		*=0 :=					5					
変更理由・内容		変更②:事》》。	豊地流動化に 業内の 業内の 等力を 計量制度 対の 対の がの のの のの のの のの のの のの のの のの の	伴う施設配置業費の変更が設定を受けるでは、 がはるに設工がいるででは、 はは、 はは、 はは、 はいのででは、 はいのでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 はい	で置 で見 で見 で見 での での での での での での での での での での	る整備内容の 業量・事業費の でのでは できまする。 では できまする。 では できまする。 できまな。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる	費の増活 曽		業費の増			

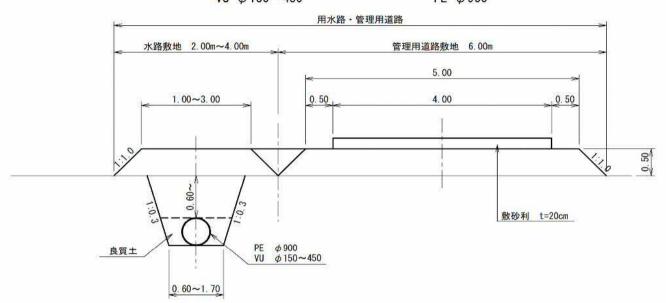




# 標準構造図

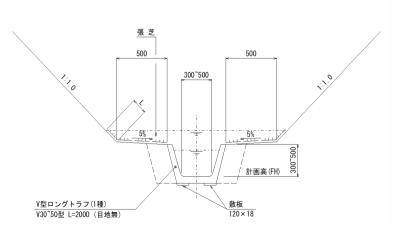
### 用水路工 標準定規図

硬質ポリ塩化ビニル管 VU φ150~450 ポリエチレン管 PE ø900



#### 排水路工 標準定規図

既製<u>コンクリートフルー</u>ム V30~V50



## 既製コンクリートフルーム

